

WG 活動中間報告書の構成案

- 放射線の基礎知識を持ち、放射線防護を専門としないかた向けに
- 現在の知見の整理は最小限にとどめ、今後の論点と課題に焦点を絞りたい
- 1項目あたり、2～3ページ程度か（場合によっては多くなってもOK）

1. WG のスコープと活動方針

- 1-1 WG 設立趣旨、体制及び活動方針 飯本
- 1-2 WG における当面の検討課題 古渡

2. エックス線事故等の概要と可能性

- 2-1 国内外の放射線事故に関する公開情報 山口
- 2-2 大学等における放射線トラブルの事例 高橋・榎本・飯本
- 2-3 エックス線被ばく事故（日本製鉄 2021 年 5 月）の概要 山口・辻本
- 2-4 ★★（…）

3. エックス線装置とそれらによる被ばくの特徴

- 3-1 非破壊検査関係 小田
- 3-2 大学・研究機関等 榎本
- 3-3 学校教育現場 秋吉

4. 放射線の影響と線量の評価

- 4-1 放射線影響の観点からの課題 浜田
- 4-2 PHITS による被ばく者の迅速な線量評価の可能性 阪間
- 4-3 ★（線量評価上の論点と課題）

5. エックス線等の放射線施設における安全管理

- 5-1 企業の放射線管理の視点での検討 川島
- 5-2 エックス線発生装置に関する規制 橋本
- 5-3 ★（安全管理上の論点と課題）

6. 安全文化に関する検討

- 6-1 エックス線被ばく事故の再発防止の観点からの検討 小嶋
- 6-2 エックス線作業主任者養成の観点からの課題 福士

- 6-3 「職場の安全サイト」労働安全取組 中村
- 6-4 ウラン加工工場(JCO)臨界事故の教訓 笠井

7. まとめ

- 7-1 これまでの活動の総括 古渡・飯本
- 7-2 今後の活動について 飯本